

## こつそ しょう 骨粗しょう症の治療

骨粗しょう症は、骨の強度が低下し、つまずいで手や肘をついたり、くしゃみをしたりなどのわずかな衝撃でも骨折するリスクが高くなる病気です。急速な高齢化が進む中、日本の骨粗しょう症患者は1,200万人以上と推計されており、今なお増加しています。

骨粗しょう症を原因とする骨折としては、<sup>だいたい</sup>大腿骨近位部骨折、<sup>こつそいぶこつそつ</sup>脊椎圧迫骨折、<sup>せきついあつぱくこつそつ</sup>橈骨遠位端骨折が挙げられます。

大腿骨近位部骨折とは、大腿骨の股関節に近い部位での骨折で、痛みにより立つことや歩くことが困難になります。脊椎圧迫骨折とは、骨粗しょう症でもろくなった背骨が押しつぶされる骨折で、寝返りや歩くことが困難になります。橈骨遠位端骨折とは、転んで手をついた際などに橈骨の手首に近い部位が骨折することで、手の機能の低下につながります。

3つの骨折のうち、特に大腿骨近位部骨折と脊椎圧迫骨折は日常の動作が不自由になるだけでなく、<sup>つた</sup>死亡率の上昇にも繋がると言われています。

整形外科医師 <sup>なかつたゆうき</sup> 仲田裕紀

骨粗しょう症を早期に発見し、適切な治療を行い、骨折を未然に防ぐことが何より大切です。

骨粗しょう症は、主にこれまでの骨折歴と骨密度によって診断されます。さまざまな治療方法があり、当院では患者さんと相談しながら、一人ひとりの骨の強度や生活習慣などに応じて最適な治療方法を決定します。

最近では半年に1回の注射で高い効果を得ることができる治療法も登場し、頻繁に通院することが難しい方への有用な選択肢として期待されています。骨粗しょう症の治療は予防的な意味合いが大きいですが、すでに骨折されている方に対しては治療期間の短縮にも繋がることから、幅広く健康を支える治療となっています。

骨粗しょう症が心配な方、又は上記の骨折歴をお持ちで、まだ骨粗しょう症の治療を始められていない方は、ぜひ一度医療機関へご相談ください。

※次回のワンポイントクリニックは10月号を予定しています。(以後、隔月掲載になります)